



社会福祉

法 人

豊中市社会福祉協議会

第49号

2009年(平成21年)3月31日

発行 社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会

ボランティアセンターだより編集委員会

〒560-0023 豊中市岡上の町 2-1-15

TEL (6848) 1000 FAX (6848) 1005

URL: <http://www3.ocn.ne.jp/~tcpvc>E-mail: tcpvc@gold.ocn.ne.jp

ボランティアセンターだより

ボランティアセンターが移転しました！！



↑ ろう下側にはパネルを並べています



↑ 入口でボランちゃんがお出迎え



↑ 中には活動スペースもあります

これまで、桜塚商店街でご利用いただいていた「ボランティア活動推進センター ぷらっと」が、平成21年2月16日に移転致しました。移転先は豊中市すこやかプラザ2階で、市社協事務局も同じフロアにあります(場所の詳細等はP.8 参照)。

市社協登録ボランティアグループも引越しを終え、新たなボランティア活動の拠点として動き始めています。大きな窓の並ぶセンターは明るく開放的で、ボランティアの方々のお話も弾むようです。今後は、様々な講座もすこやかプラザで計画していく予定ですので引き続き「ボランティアセンター ぷらっと」をよろしくお願い致します。

＜ボランティアセンター ぷらっとの事業内容＞

- ☆ボランティアはじめま専科(ミニ講座)の開催
- ☆ボランティア・地域活動に関する情報提供
- ☆ボランティア関連図書・ビデオ等の貸し出し
- ☆ボランティア体験グッズの貸し出し
- ☆ボランティアの相談・登録
- ☆ボランティアグループ活動の支援
- ☆ボランティアネットワークの支援
- ☆ボランティアの交流の場 など…

お気軽にお立ち寄り下さい



6年間ありがとうございました。

これからは
すこやかプラザで
お待ちしております！



ボランティア
さん手作りの
編みぐるみボ
ランちゃんー





豊中ボランティアミニフェスティバル & ヒューマンバザー



11月2日(日)、豊中市千里文化センター「コラボ」にて上記のイベントを開催し、約700名のみなさまにご来場頂きました。ボランティアフェスティバルは例年2月に実施していましたが、今回はヒューマンバザーと同時開催となり、場所も初めてのコラボということで、いつもとはまた違った雰囲気を感じられました。



↑「糸をかし」のメンバーによるちんどん屋

☆ヒューマンバザー☆



衣類、日用雑貨、食器、バッグ、本、手作りのお人形…など品物の種類ごとにコーナーを設置し、大勢の方々にゆっくり選んで楽しんで頂けたヒューマンバザー。おかげさまで売上金が184,265円になり、福祉の店「なかま」に全額贈呈することができました。

コラボでの開催で、会場が広く品物をゆっくり見てふれあい、おしゃべりして、売り手の掛け声、買い手の値切りの声が飛び交い、賑やかに楽しいひとときでした。

☆福祉の店 「なかま」出張店☆



出店作業所は、

- ◆えーぜっと(クッキー・パン)
- ◆みらい(さをり製品・手作り小物)
- ◆第2みらい(手織商品・陶芸品)
- ◆豊中きらら福祉会(陶芸食器・作品)

のみなさまにご協力頂きました。

外側に面した通路での出店で、道行く人々にもお立ち寄り頂けたようです。

◎福祉の店「なかま」は阪急豊中駅の北改札口の北側で通常オープンしています。商品の販売だけでなく、障害者福祉の啓発事業や情報提供なども行っています。お気軽にお越し下さい!

☆ステージ発表☆



ステージは午後からの開場で、「ゴールデンベル」の合奏・手話歌・合唱がオープニングを飾りました。その後、ちょボラサロン「えがお」のフラダンス、「ゆめゆめクラブ」のマジックショーと盛り上がりしました。続いて、市社協登録ボランティアグループの「小さな手」による手作り介護用品ファッションショーと「さわやか」の歌体操で軽く身体をほぐせました。そして、西丘校区「男（ダン）ボラの会」の力強いコーラスで前半のプログラムは終了。



休憩をはさんで、ミニコンサート「夢見る力を信じて盲導犬グレースとともに」と題して、前川裕美さんによるお話しと弾き語りです。小学5年生で網膜色素変性症と診断され、現在ではほとんどの視力を失っておられる前川さんの気持ちを綴った自作の詞の歌には、みなさん胸を打たれている様子うかがえました。

エンディングで手話サークル「ゆうなぎ」のメンバーと共に手話コーラスをして閉会となりました。



☆ファミリーボランティア体験コーナー☆



出入口すぐの多目的スペースで、スタンブラリー形式の体験コーナーを実施しました。

体験の種類は、アイマスク・車いす・点字・手話・折り紙（子ども遊び）・インスタントシニアの6種類で、たくさんの方で賑わっていました。

また、小さな子どもさんには初めての体験で、ボランティア活動のきっかけとなったのではないのでしょうか。

☆参加者の感想☆

- ・前川さんのコンサートがよかった。トークや演奏はもちろん、同時に手話や筆記通訳があり、様々なコミュニケーションを改めて気付いた。
- ・作業所のクッキーやパンなどが売られていたので、コーヒーや紅茶が飲める喫茶コーナーがあったらよかった。
- ・初めて参加して、車いす体験は目線が違う少しのでこぼこもすごい振動を感じ、大変だと思った。

ボランちゃん誕生 10 周年を祝して



団塊塾とよなか

昨年も実施致しました「団塊塾とよなか」を、今年は10月から11月にかけて開講しました。この講座は～セカンドライフを地域で豊かに～をテーマに、団塊の世代前後の皆さんを対象として、新たなライフスタイルへの第一歩となれればと開催しています。また、ボランティア活動や地域活動、NPOなどの様々な地域の仲間との出会いの場としての役割にも期待しています。



第1日目

10月17日(金)福祉会館でスタート、受講者は9名の方にご参加頂きました。これから約1ヶ月間、ボランティアや地域活動についてみんなで学んでいきます。

初日は、ジャンケンゲームやボランティアのキーワードを交えた自己紹介を行った後、市社協事務局よりボランティア活動について話をしました。また、豊中市の小地域福祉ネットワーク活動についてのビデオを見て頂き、最後に市内の様々なボランティアグループの紹介等しました。

♡ボランティアのイメージ（参加者のキーワードより）

「空間」「奉仕活動」「社会貢献」「人のため」「させて頂く」「社会に、地球に役立つ」「人助け・ふれあい」「地域への貢献」

第2日目

10月24日(金)、「団塊世代の地域デビュー」と題して、甲南女子大学准教授 佐瀬美恵子さんの講演を聞きました。

具体的なお話を交え、分かりやすくお話し頂き、リタイア後の変化や不安を受け止め、逆にチャンスに変えることで、これまでできなかった事にも挑戦する機会にできるのではといった内容が心に残りました。



♡講義を聞いての感想

- ・ボランティアの心構え等団塊世代の話、興味深い内容でした。
- ・最初から大上段に構えることなく、何か全く新しい事をやってみたい、楽しんでみるという事を無理なく進める。その為のきっかけをつかむ事が大事。その結果がボランティア活動であったり、生きがいとなったり友人ができたり…。
- ・ボランティア活動の楽しさを教えてもらえ良かった。



第3日目

11月12日(水)、「豊中の地域活動いろいろ」についてパネルディスカッションを行いました。

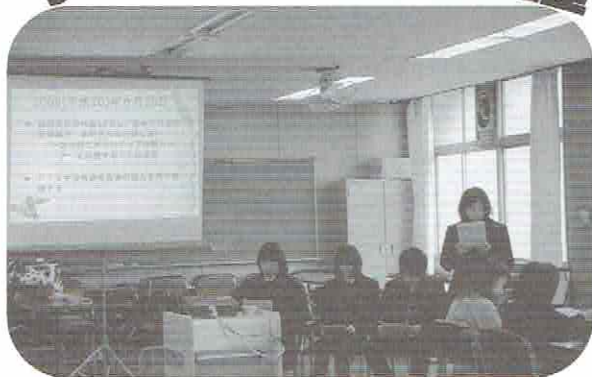
パネラーに、団塊塾1期生 吉村 貞介さん、竹炭塾 入江 忠徳さん、西丘校区社会福祉協議会 男ボラ会 稲谷 久義さん、Vネットとよなか 廣瀬 眞信さんの4名をお迎えし、コーディネーターとして市社協事務局が参加しました。吉村さん・入江さんからは活動されているボランティアのお話を、また、稲谷さんからは校区でのボランティア活動のお話があり、廣瀬さんからは企業・団体の社会貢献活動についてを、それぞれの体験談を交えつつ聞かせて頂く事ができました。

ボランティアといっても様々なかたちがあり、自分自身にあった活動をぜひ見つけて頂きたいとの願いを込めて閉塾となりました。

2月2日と3月2日に、団塊塾とよなかの活動紹介を兼ねたミニ講座として、布ぞうりの講習会を開催しました。2回連続講座で、当初定員10名としていましたが、反響の大きさに急遽人数を増やし、2月は14名、3月新たに10名加わり、のべ38名の参加となりました。

布ぞうり作りは、団塊塾OB・OGの有志のみなさまが、ボランティア活動の一貫として行っており、作成した布ぞうりを地域のミニデイに通っておられるお年寄りに寄付するなど、布ぞうり作りをみんなで学びつつ、地域に貢献もできるとあって、継続して活動して頂いています。この他にも色々な活動にチャレンジされており、「一緒に活動してみたい!」と感じて頂けました方は、ぜひ次回開催予定の団塊塾とよなかにご参加下さい!!

桜塚高校 「学校保健委員会」開催



2月12日(木)桜塚高校で「ボランティアを考える」をテーマに、校長をはじめ、PTA、学校関係者等のみなさんが多数出席し、市社協も参加して地域と連携した学校保健委員会が開催されました。そこで、生徒保健委員のみなさんが、吹田支援学校でのボランティア体験・視察や、文化祭で市社協ボランティアグループの方々から学んだ車いす・手話体験など、1年間の活動を通じボランティアについて、理解を深めてきた成果を発表されました。

「少しの段差でも、車いすに乗っていたら振動が大きく伝わりびっくりしました。」

「手の形や動きがそのまま手話になっているものもあり、印象に残りました。」

など、ボランティア体験に関していろいろな感想が寄せられました。

また、今の福祉課題について疑問を投げかけるような発表もあり、それぞれの立場からの助言や活発な意見交換がありました。

今回の取り組みで、ボランティア活動にまず関心を持って頂けたことに感謝するとともに、これからの活動にも期待しています。

災害支援訓練



1月17日（土）、福祉会館にて災害支援訓練を実施しました。この訓練は、阪神・淡路大震災以後、災害時の支援体制を充実強化させることを目的に実施しています。

当日は、豊中市全域で震度6強の地震が発生したという想定で「福祉救援対策本部」を設置しました。参加者のみなさまには、まず受付にて災害ボランティア受付票をご記入頂き、資格や特技などを確認します。シールに名前・資格・移動手段を記入したものを腕に貼り、希望のあった活動に合わせて適した方を派遣していきます。派遣依頼については、ニーズ受付票にそって聞き取った内容を基にボランティアの人数や必要な資材等を把握し、受付につなぎます。そこで、ボランティア活動希望のニーズを聞き取る訓練も行い、どのような点に注意して相談を受けるかといったことも学んで頂けました。また、今年度は福祉避難所として庄本老人デイサービスセンターでも連携して訓練を行いました。福祉避難所は市内15ヶ所で指定されており、災害時には一般的な避難所では生活に支障をきたし、何らかの特別な配慮を必要とされる方等を対象として設置・運営されます。



↓地震の被害を再現した模型



←修了証を頂きました

3月3日、「市社協災害支援研修会～大阪市立阿倍野防災センター見学会～」を開催しました。当日は、3月にもかかわらず、朝からちらほらと雪がちらついたり、雨が降ったりで、非常に寒い悪天候でしたが、15名ものボランティアの方々にご参加頂きました。

阿倍野防災センターは、体験がメインとなっており、震度7体験コーナー・バーチャル地震コーナー・火災発生防止コーナー・初期消火コーナー・119番通報コーナー・消火コーナー・救出コーナー・応急救護コーナーとあり、全てのコーナーを約100分間、ナビゲーターの方と元消防隊員の指導員の指導のもと、全員真剣に取り組まれていました。

震度7体験では阪神大震災の時の揺れを体験し、その後、東海・中南海・南海沖地震を想定した揺れを体験した時には、この揺れがいつまで続くのか、揺れが長くなればなるほど恐怖心が増してきました。他に、煙中コーナーでは、いかに姿勢を低くして避難するかが大切だということ、また、119番コーナーでは、適切に情報を伝えることの大切さなどを学ぶ各コーナーポイントがしっかりあり、とても参考になりました。特に応急救護コーナーは、止血の仕方や骨折時の固定の方法の原理を、とても分かりやすく教わる事ができました。

今回の研修で、参加者の防災に対する意識は大変高まったように思えます。各ボランティアグループの研修などでも利用されてみてはいかがでしょうか。

市立デイサービスセンターに地域福祉活動 支援センターが設置されます

2009 年4月豊中市社会福祉協議会と豊中市福祉公社が統合するにあたり、両組織で、統合効果や、将来ビジョンをまとめた「統合ビジョン」を作成しました。統合の目標として、それぞれの機能を有機的に連携して、「地域で暮らしを支える。新たなネットワークの構築と多様な福祉サービスの創造」を目指しています。その中で、これまで福祉公社が運営していました市立デイサービスセンター内に、地域福祉活動を推進していく拠点として「地域福祉活動支援センター」を設置することになりました。市社協の本部である豊中市すこやかプラザに加えて、市内を7つに分けた日常生活圏域内ごとに「地域福祉活動支援センター」を設置し、そこに配置されたコミュニティソーシャルワーカー（CSW）が本部のCSWと連携して圏域内の地域活動を支援していくブランチ（支部）の役割を担います。地域力の向上を目指して、

①地域福祉の担い手づくりの拠点

②ボランティア、地域活動の支援拠点としての機能強化

を目指します。将来的には、介護保険のインフォーマルな支援拠点としての機能を果たしていくことも目指します。また、この取り組みは、第2期豊中市地域福祉計画の重点プログラムとして位置付けられています。

事業概要

4月から市社協が運営することになる市立老人デイサービスセンターは、原田・桜井谷・庄本・東豊中・服部・高川の6ヶ所があります。

<地域福祉の担い手づくりの拠点>

ボランティア講座の開催、介護講座、親子ボランティア講座、ボランティア交流会、地域福祉ボランティア情報コーナー …など

<ボランティア・地域活動支援拠点>

ボランティア保険の窓口、地域交流スペースの貸出、車いすの貸出、ボランティア相談窓口、校区活動との連携支援 …など



～2009 年度からの市立デイサービスセンターの 4 つの機能～

デイサービス機能

介護保険で要介護・要支援の認定を受けられた高齢者を対象に通所により食事、入浴などの日常生活の支援やリハビリ等を日帰りで提供します。

サービス供給ステーション機能

訪問介護や訪問看護、居宅介護支援事業などのサービスステーションとしての機能が加わります。（デイによって事業が異なります。）

地域福祉活動支援センター機能

ボランティア支援拠点として地域福祉の担い手づくりを応援します。

福祉避難所機能

災害時の二次避難所として一次避難所に避難された要介護者等の福祉避難所として位置付けられています。地域との連携訓練なども実施していきます。

ボランティアセンター ぷらっとのご案内

所在地：

〒560-0023

豊中市岡上の町2-1-15

(豊中市すこやかプラザ内)

電話： 06(6848)1000

FAX： 06(6848)1005

利用時間：

9:00~17:15

(土・日・祝、年末年始はお休みです)



ボランティアメールをご活用下さい☆

メールでボランティアスクールの開催案内や、ボランティア募集情報などをお知らせします。携帯電話から簡単な受信登録をしていただくと、お知らせメールが届くようになりますので、まずは受信の登録をぜひしてみてください。

▶登録方法は…

①下記のQRコードを携帯電話で直接読み込んでいただき、空メールを送信して下さい。

※読み取りができない場合は、

toyonaka87@city.toyonaka.osaka.jp

のアドレスに件名「あんあんメール」と入力し、送信して下さい。

②本登録用のメールが届きましたら、案内に沿って登録を完了して下さい。

※注意※ドメイン指定などで受信制限の設定をしている方は、受信ができるように設定を変更してからメールを送信して下さい。

▶登録に関するお問合せは…

豊中市情報政策室

6858-2781



◎ボランティア保険のご案内◎

市社協では、安心してボランティア活動を行っていただけるように各種ボランティア保険の申し込みを受け付けています。

◎ボランティア・市民活動行事保険

◎移送中事故傷害保険

◎ボランティア活動保険

◎非営利・有償活動団体保険

詳しい内容につきましては、ボランティアセンターへお問合せいただくか、もしくは大阪府ボランティア・市民活動センターのホームページ(<http://www.osakafusyakyo.or.jp>)をご参照ください。

編集後記

ボランティア活動推進センター「ぷらっと」が岡上の町に移転しました。6年間利用してきた桜塚商店街の「ぷらっと」に、もちろん愛着は残ります。でも心機一転、新しく名称もボランティアセンター「ぷらっと」と変わり、市社協職員の皆さんと同じ場所にもなり、希望と喜びは一塩です。ボランティア精神を一層高め、皆でこの新しい拠点で助け合いながら、大いに活動していきましょう。また、これからボランティアをご希望の市民の皆さん！！ご参加を大歓迎します。どうぞお気軽にお越し下さい。

「うれしさは春のひかりを手に掬い」 野見山朱鳥(角川書店 俳句歳時記より)(アクセスM. Y)